

大雨による氾濫



氾濫の種類

外水氾濫（洪水）

● 発生仕方

- 大雨により大きな河川の水量が増え、堤防が決壊したり、堤防を越えて水があふれだす氾濫。

● 事例

- 平成25年の台風18号による桂川の越水。大きな河川である桂川から水があふれだしたことにより嵐山付近が浸水。

● 特徴・予測

- 雨が降っていないなくても、上流域で大雨が降っていれば発生する可能性がある。
- 降雨状況や水位から比較的、事前の予測が可能である。



内水氾濫

● 発生仕方

- 雨水を大きな河川へ流す排水が追いつかず、小さな川やマンホール、側溝から水があふれる氾濫。

● 事例

- 平成26年8月の豪雨により福知山市で発生した氾濫。大きな河川である由良川から水はあふれなかったが、雨水の排水処理ができず市街地が浸水。

● 特徴・予測

- 短時間の局地的大雨でも発生し、突如として浸水する。
- 事前の予測が困難であり、警報等が発表されていなくても発生する可能性がある。

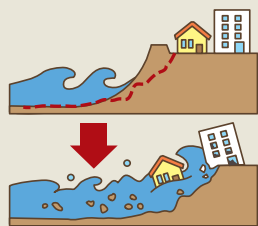


河岸侵食、氾濫流

● 河岸侵食による家屋倒壊等氾濫想定区域

河川の激しい流れにより河岸が削られ土地が流出し、住宅が倒壊・流出するおそれのある区域です。

この区域の住民の方は、早期の立退き避難が必要です。



● 氾濫流による家屋倒壊等氾濫想定区域

洪水時の堤防決壊により氾濫した水の力により木造家屋が流出・倒壊するおそれのある区域です。

この区域の住民の方は、早期の立退き避難が必要です。



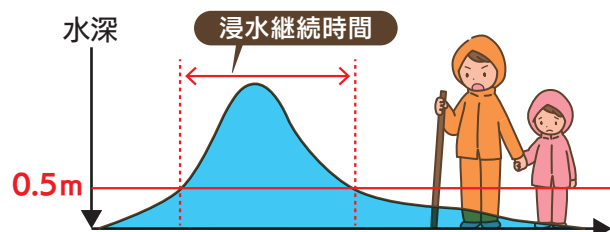
どれくらいの規模の大雨を想定している？

外水氾濫、内水氾濫ともに、想定最大規模の大雨に基づき、氾濫した場合に浸水する区域等がシミュレーションされています。想定最大規模の大雨とは、1000年に1回程度発生するもので、具体的な降雨量等はP25、P37に記載しています。

浸水継続時間とは？

ある地点の浸水の深さが0.5m以上になってから0.5mを下回るまでの時間を示したものです。

浸水継続時間が長い区域では、屋外への避難が困難となり孤立する可能性があります。



浸水対策

家庭にある物を利用し、家屋への浸水を防ぎましょう。
玄関などの出入口や、床下への浸水防止の対策を行いましょう。

《 家屋でおこなえる浸水被害を軽減する対策 》

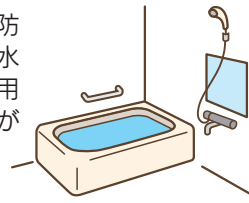
ごみ袋による簡易水のう

ごみ袋を二重にし半分程度水を入れて、ダンボール箱に入れ連結します。



風呂の貯水

下水の逆流防止、生活用水としての利用などの利点があります。



止水板

出入口は長めの板などを使用し、浸水を防ぎます。



プランターとレジャーシート

土を入れたプランターを、レジャーシートで巻き込み使用します。



トイレや洗濯機などの排水溝

水をいれたビニール袋をおいておくことで排水溝から逆流してくる泥水を防げます。



ポリタンクとレジャーシート

ポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込み連結します。



市内・近隣

過去の水害の例

《 外水氾濫（洪水）の例 》



写真：平成25年(2013年)9月台風18号
桂川が久我橋付近で約400mにわたり越水。2,000個の土のうを積み、堤防決壊を防いだ。



写真：平成25年(2013年)9月台風18号
水位が上昇した桂川に合流できず、小畑川の水位が越水手前まで上昇。写真は長岡京市神足太田付近。

《 内水氾濫の例 》



写真：平成22年(2010年)7月の大雨
長岡京市神足十ヶ坪で新幹線の高架沿いの道路が内水氾濫により浸水。



写真：平成26年(2014年)8月台風11号
長岡京市今里宇津久志付近で内水氾濫により道路が冠水する様子。